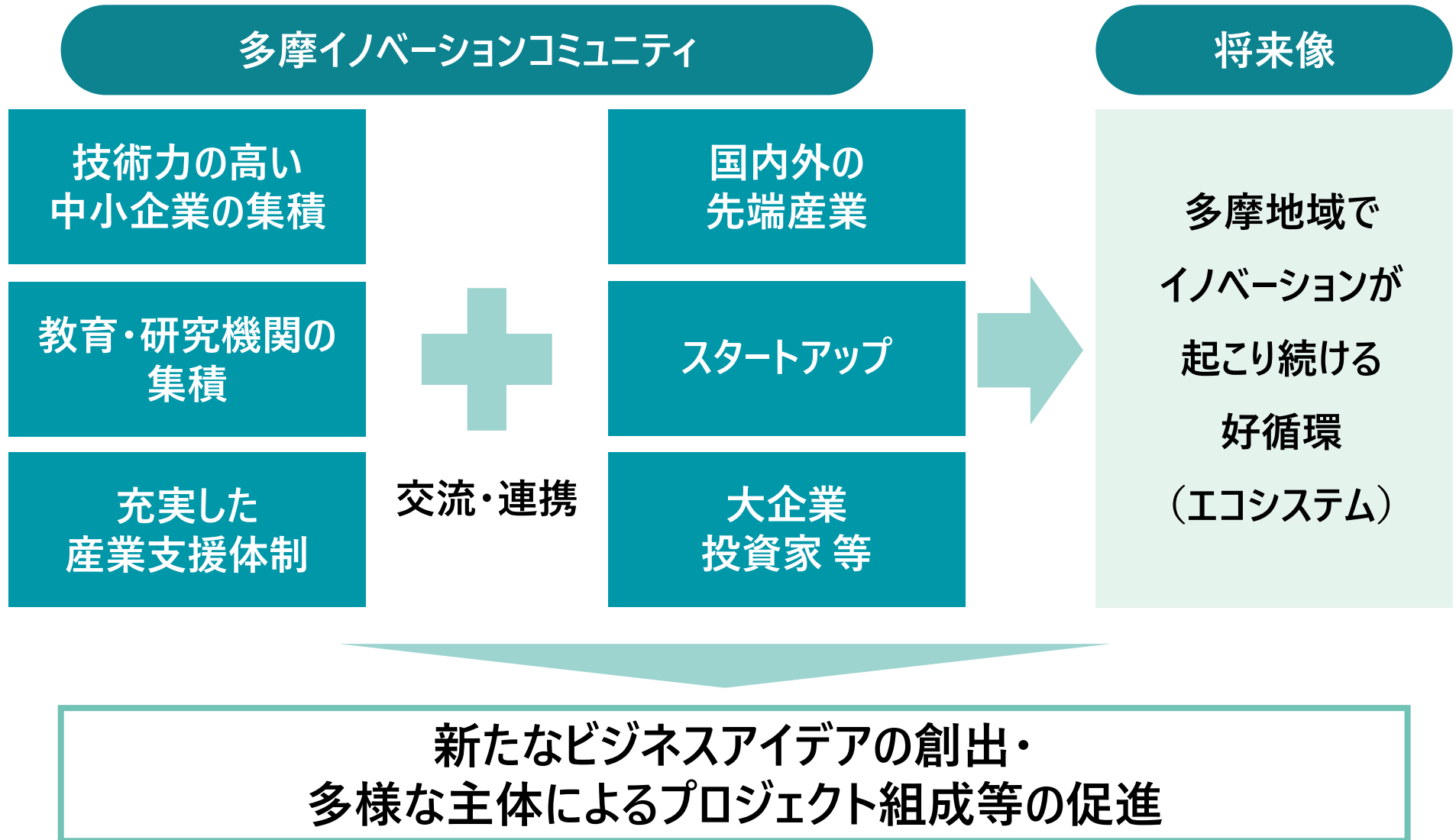


多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集

説明会資料

1. ビジネスアイデア募集の説明

多摩イノベーションコミュニティの目的



多摩イノベーションコミュニティの本年度の取り組み

事業構想ワークショップ



リバースピーチ



コミュニティ活動のアウトプットの機会として、 「多摩地域の課題解決に向けたビジネスアイデア」を募集します！

募集概要

応募資格

- ・本コミュニティの会員（入会申込中含む）であること
- ・代表者は中小企業（スタートアップ含む）であること 等
（連携事業者は中小企業に限らない）

要件

- ・本事業の定める重点テーマのいずれかに該当すること
- ・多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- ・多摩地域へのインパクトが期待でき得る、新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- ・対象とする顧客やその市場に関する仮説を有しているビジネスアイデアであること
- ・次年度以降検証フェーズに入る見込みがあること

※1社単独ではなく、複数の企業等により取り組む想定のビジネスアイデアであること

<ビジネスアイデア例>

■ DX推進による医療のオンライン化 ■ AIを用いた技能人材の継承・拡大



支援内容

6件程度の優れたビジネスアイデアを選定し、ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行う

1. ハンズオン支援

以下の計画策定支援等行う

- ① ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ② ビジネスアイデアの壁打ち
- ③ 必要な連携先とのマッチング支援
- ④ 次年度以降の検証に向けた準備支援

2. 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1プロジェクト当たり最大100万円（税込）を支援する

対象費目は、以下のとおり

- ① 事業費
- ② 委託・外注費

3. 支援期間

令和6年11月中旬～令和7年2月頃まで

募集要項「1 定義」

1. 定義

本募集要項における用語の定義は、以下の通りとします。

本事業	令和6年度多摩イノベーションエコシステム促進事業									
事務局	本事業において、ビジネスアイデアの募集・選定、支援を行う者									
多摩地域	東京都のうち23区と島しょ部（伊豆諸島及び小笠原諸島）を除いた30市町村（26市3町1村）									
本コミュニティ	多摩イノベーションコミュニティ									
ビジネスアイデア	複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）が連携して取り組むビジネスアイデア									
ビジネスアイデアチーム	同じビジネスアイデアの実現に向けて連携を想定している複数の企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）から構成されるグループ									
重点テーマ	<p>多摩地域の社会的な課題や企業の特徴を捉え、イノベーション創出に向けて設定した、優先的に取り組むべき9つのテーマ （「多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針」より）</p> <table><tr><td>環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要</td><td>健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展</td><td>子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要</td></tr><tr><td>安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が深刻化</td><td>観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要</td><td>物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題</td></tr><tr><td>コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化</td><td>ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要</td><td>人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要</td></tr></table>	環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要	安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が深刻化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題	コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要
環境・エネルギー 環境に優しいまちづくりに向け、省エネ化や再生可能エネルギー等の活用が必要	健康・医療 多摩ニュータウンなどを中心に居住者の高齢化が進展	子ども・教育 人口減少が続く中、子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要								
安心・安全 台風等による多摩川や秋川の氾濫、土砂災害など、自然災害が深刻化	観光・レジャー 都心部からの立地や豊かな自然環境といった魅力の向上と発信が必要	物流・モビリティ ECの拡大などに伴う物流の効率化や交通弱者への対応が課題								
コミュニティ活性化 空き家が増加し、生活環境や治安への影響が懸念、地域での繋がりが希薄化	ビジネスモデル改革 高い技術力を持つ中小企業が成長するためには、新たな事業展開が必要	人材確保・育成 ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が必要								
応募者	ビジネスアイデアチームの構成者のうち、主たる企業として応募・運営・管理を行う事業者のことであり、中小企業（スタートアップを含む）とする。									
ワークショップ	本コミュニティにて開催しているワークショップ https://tama-innovation-ecosystem.jp/event/									

ビジネスアイデア

複数の企業等が連携して取り組む想定であること

重点テーマ

多摩地域の特徴や課題・産業の特徴を踏まえて設定している

詳細は「多摩イノベーションエコシステム形成に向けた取り組み方針」をご参照ください

https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/chushou/ho/nbunn_tamatiikiinobe-syon.pdf

募集要項「2 ビジネスアイデアの要件」

2. ビジネスアイデアの要件

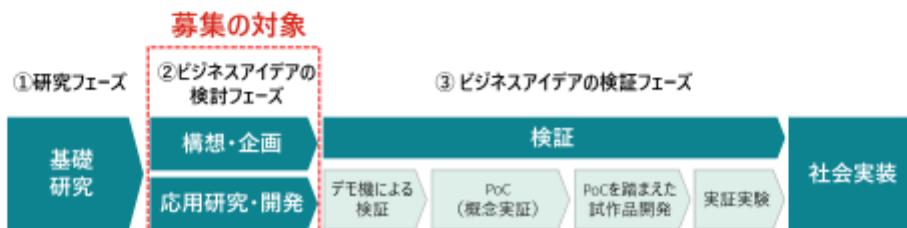
募集するビジネスアイデアは、ビジネスアイデアチーム（1社単独ではなく、中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等の複数の企業等によるチーム）による取り組みであることを前提として、以下の要件をすべて満たすものとします。

※応募の段階でビジネスアイデアチームの組成が完了していることは必須ではありません。

- (1) 重点テーマのいずれかに該当するビジネスアイデアであること
- (2) 多摩地域における社会課題を捉えたビジネスアイデアであること
- (3) 多摩地域内外へのインパクトが期待でき得る新規性・独自性のあるビジネスアイデアであること
- (4) 対象とする顧客やその市場に関する仮説を有しているビジネスアイデアであること
- (5) 次年度以降検証フェーズに入る見込みがあること

下記の「②ビジネスアイデアの検討フェーズ」（ビジネスアイデアの構想・企画や、それに伴う応用研究・開発を実施するフェーズ）に該当するものを募集の対象とする。

<一般的な製品・サービス開発の流れ>



(2) (3)

多摩地域における社会課題を捉え、新規性・独自性のあるアイデアであること

(4)

対象とする顧客や市場に関する仮説を有していること

(5)

支援を通じて、次年度以降検証フェーズに入る見込みであること

ビジネスアイデアの検討フェーズのものを対象とする

(市場ニーズ等を踏まえて、企画・構想およびそのための応用研究開発を実施するフェーズ)

募集要項「3 応募資格」

3. 応募資格

以下の要件をすべて満たすものとします。

※過年度のビジネスアイデアの具現化に向けた支援およびリーディングプロジェクトの採択事業者を除きます。

- (1) 応募者は本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- (2) 応募者は、中小企業※（スタートアップを含む）とする
- (3) 応募者及びビジネスアイデアチームは次の①～④のいずれにも該当すること
 - ① 法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
 - ② 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
 - ③ 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成 23 年東京都条例第 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がいないこと
 - ④ その他、事務局が本プログラムを提供するにふさわしくないと判断する業務等を有さないこと

コミュニティ会員

コミュニティ会員でない企業様については、応募締め切りまでに、コミュニティ入会申し込みが必要となります

応募者

中小企業（スタートアップを含む）が代表に立っていただく必要があります



コミュニティ入会メニュー

募集要項「4 支援内容」

4. 支援内容

応募があった中から、**6 件程度の優れたビジネスアイデアを選定**し、事務局からビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の支援を行います。

(1) ハンズオン支援

ビジネスアイデアの具現化に向けて、以下の計画策定支援等を行う。

- ① ビジネスアイデアの事業計画策定に向けた助言
- ② ビジネスアイデアの壁打ち
- ③ 必要な連携先とのマッチング支援
- ④ 次年以降の検証に向けた準備支援

ハンズオン支援

次年度以降の事業者のアイデア実現に向けた取り組みを加速化させるための支援を提供

(2) 費用支援

ビジネスアイデアの具現化に要する費用について、1 プロジェクト当たり最大 100 万円（税込）を支援する。

<対象費目>

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費（テストマーケティング等）、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザーに対する委託・外注・謝金費用（例：法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁理士に対する謝金等） プロトタイピングにかかる委託・外注費

費用支援

人件費は支援対象外

※人件費は支援対象外

募集要項「5 支援期間」

5. 支援期間

令和 6 年 11 月中旬から令和 7 年 2 月まで

※支援期間中に最終報告の実施を予定しています

募集要項「6 応募方法」

6. 応募方法

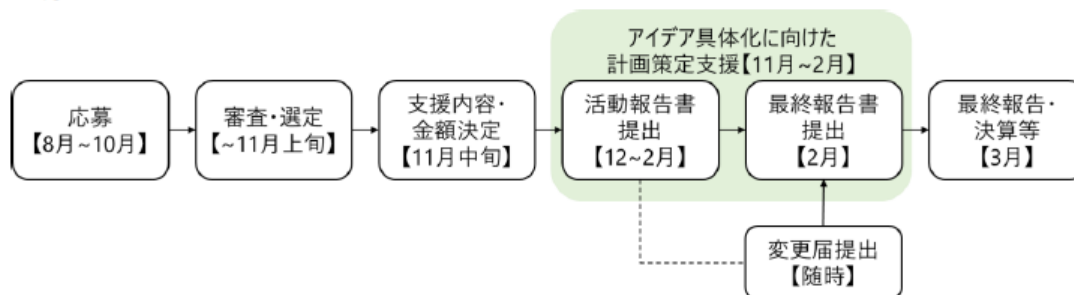
応募者は、下記応募書類を提出期限までに事務局（「10.問い合わせ先」記載のメールアドレス）まで送付してください。事務局より、受付完了メールを数営業日以内に返信しますので、ご確認ください。なお、応募者につき、応募は1件までとします。

（提出期限 令和6年10月11日（金）正午【必着】）

なお、メールに応募書類を添付できない場合は、ファイル共有ツールのダウンロード先リンクを事務局までお送りください。提出期限後の提出資料等の差し替えには応じられません。

No	資料名	記載事項
様式1	エントリーシート	・応募事業者名、所在地、連絡先等を記載
様式2	提案書	・「提案書フォーマット」を参照の上、プロジェクトの概要、課題解決性、ビジネスモデル仮説等を記載 ・パワーポイント形式、フォントサイズ12pt以上、A4横、9枚まで
様式3	経費算出書類	・希望する対象費目（事業費、委託・外注費）、支出目的、金額等を記載

<応募から支援までのスケジュール等>



応募方法

応募者が、提出期限までに
応募書類を事務局へ送付

<応募書類>

様式1 エントリーシート

様式2 提案書

様式3 経費算出書類

応募者およびビジネスアイデアチームあ
たり応募は1件まで

連携事業者としてであれば、複数のビ
ジネスアイデアチームでの関与も可能

募集要項「7 審査・選定方法」

7. 審査・選定方法

(1) 審査の観点

以下の観点で審査を行う。

① 事業趣旨との合目的性

多摩地域における社会課題を捉え、産業の創出や広がり、中長期的な社会インパクトを見据えた取り組みであるとともに、応募者が本事業を通じて、マーケットをより意識した伴走支援や費用支援を希望する計画を持っていること。

② アイデアの革新性

検討しているビジネスアイデアが新規性や独自性を有しているか、多摩地域内外にとって画期的かつ魅力的なイノベーション創出につながるビジネスアイデアとなっていること。また、競合と比較して優位性のあるビジネスモデルとなっていること。

③ マーケットとの適合性

検討しているビジネスアイデアが、ターゲットが抱える課題・ニーズを捉えられた内容となっているとともに、想定する市場規模に成長性が期待できること。

④ 実現可能性

ビジネスアイデアの実現に向けた妥当なチーム構成になっているか、また次年度以降の検証に向けて解決又は取り組むべき内容やその解決方針が明確になっていること。

審査の観点

「①事業趣旨との合目的性」「②アイデアの革新性」「③マーケットとの適合性」「④実現可能性」の4つの観点に基づき審査を実施

(2) 審査方法

① 書面審査

提出された書面に基づき、書面審査を行う。

提案が「1 ビジネスアイデアの要件」「2 応募資格」に合致しているかを確認し、合致している提案に対し、書面審査を行う。審査の過程で、事務局から応募内容に関して追加の説明や資料の提出を求めることがある。

② プレゼン審査

書面審査を通過した提案について、11月上旬を目途に口頭プレゼンテーションと質疑応答を実施する。

審査方法

審査員（外部有識者含む）による審査を実施

(3) 選定結果通知

11月中旬以降を目途に応募者全員に結果を通知する。

なお、選定過程は公表しない。

結果通知

令和5年11月中旬以降、応募者全員に結果を通知

募集要項「8 説明会」

8. 説明会

本募集要項に関する説明会を実施する。

回数	日程	時間	開催方法	申込期限
第1回	令和6年9月10日(火)	11:00~12:00	オンライン 開催	各回前日 12時まで
第2回	令和6年9月17日(火)	11:00~12:00		

9/10(火)、9/17(火)同様の内容で
予定

(1) 申込方法

以下の URL より上記申込期限までにお申し込みください。(1事業者当たり2名まで)

<https://forms.office.com/e/gshR9hgW0j>

(2) 質問事項

説明会当日の席上、または説明会后メールにて受け付ける。受け付けた質問事項のうち、特定の参加者に関しない一般的な内容に対する回答は、全ての参加者に対して開示する。

説明会の内容はどちらの回も同様であり、応募にあたって説明会への出席は必須ではないが、可能な限り参加を推奨する。参加の有無は審査結果に影響しない。

募集要項「9 留意事項」

9. 留意事項

- (1) 応募者は応募時に入力するビジネスアイデアや個人情報について、以下を承諾するものとする。
- ✓ 応募時に入力する個人情報は、本事業の範囲内でのみ利用すること。
 - ✓ 応募様式の提出をもって、入力した個人情報が上記の利用目的の範囲内で、審査員（外部有識者含む）に提供されることに同意したものとみなされること。
 - ✓ ビジネスアイデアの内容等について、ノウハウや営業上の秘密事項、特許事項等については、法的保護を行うなど応募者の責任で対応することとし、本コミュニティでの法的保護は行わない。
- (2) ビジネスアイデア選定後について
- ✓ 計画策定の際に発生した損害（計画策定に必要な事前トライアル等により発生した損害など。第三者に及ぼした損害を含む。）については、応募者及びビジネスアイデアチームがその費用を負担すること。
 - ✓ ビジネスアイデアの具現化に向けた計画策定支援において発生した知的財産権等は、応募者及びビジネスアイデアチームに帰属する。
 - ✓ 選定された応募者及びビジネスアイデアチームは、事務局が行う本事業のイベント・WEB サイト等での情報発信や各種調査等に協力すること。
- (3) 協力事項
- ✓ 事務局との定期的なミーティング（週1回程度）を実施し、進捗状況や課題等についての共有・協議の場を設け、支援を受けること。
 - ✓ 具現化にあたっては、事務局の支援を受けながら、応募者が主体的に取り組むこと。

アイデアの内容について

本コミュニティでは法的保護等
は行わない

選定後に必要なこと

事務局が行う本事業のイベント・
WEBサイト等での情報発信や各
種調査等への協力

協力事項

定期的なミーティングの実施、進
捗報告等を行うとともに、応募者
が主体的に取り組むこと

今後の流れ

応募方法・提出期限

- ◆応募方法：事務局のメールアドレス宛に、応募書類を送付してください
- ◆提出期限：10月11日（金）12時00分（正午）まで【必着】

2. 応募書類の説明

応募様式 「様式1 エントリーシート」

※黄色箇所にご記入ください

様式1

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集 - エントリーシート -

令和 年 月 日

(提出期限：令和6年10月11日(金)12時)

「多摩イノベーションエコシステム促進事業」事務局
有限責任監査法人トーマツ 行

事業者名
氏名

〇〇
〇〇

応募者の情報を記入
(黄色箇所)

事業者名	〇〇		
所在地	〇〇〇〇		
ホームページ	〇〇〇〇		
部署	〇〇部	電話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
担当者氏名	〇〇	メールアドレス	〇〇@××××

当社は、応募者として、以下の応募資格の要件をすべて満たしていることを確認しました。

- ☐ (1) 当社及びビジネスアイデアチームは、本コミュニティの会員（入会申込中のものを含む）であること
- ☐ (2) 当社は中小企業*（スタートアップを含む）であること *中小企業の定義は募集要項参照
- ☐ (3) 当社及びビジネスアイデアチームは次の①～③のいずれにも該当すること
 - ☐ ①法令等や公的機関等との契約における違反や税金の滞納がないこと
 - ☐ ②公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある法人・団体等でないこと。政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする組織体でないこと
 - ☐ ③暴力団（東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）に該当せず、又は法人その他の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者がいないこと

応募資格の要件をすべて満たしていることを確認（満たしていることを確認した項目について、☑を入れる）

応募様式 「様式3 経費算出書類」

今年度の活動の中で使用する想定の事業費を記載
ビジネスアイデアの具体化に資する支出となっているか
確認するため、支出目的も記載

※黄色箇所にご記入ください

多摩イノベーションコミュニティ ビジネスアイデア募集
- 経費算出書類 -

様式3

事業者名 :

(提出期限: 10/11(金)12時)

▼記載事項

ビジネスアイデアの具体化に要する総事業費のうち、費用支援（上限100万（税込））を希望する費目についてご記載ください

大項目	No	小項目※	詳細	支出目的	単価	数量	単位	計（税抜）	消費税（10%） （10%以外の場合は別表）	計（税込）
	1				円			0 円	0 円	0 円
	2				円			0 円	0 円	0 円
	3				円			0 円	0 円	0 円
	4				円			0 円	0 円	0 円
	5				円			0 円	0 円	0 円
	6				円			0 円	0 円	0 円
	7				円			0 円	0 円	0 円
	8				円			0 円	0 円	0 円
	9				円			0 円	0 円	0 円
	10				円			0 円	0 円	0 円
合								0 円	0 円	0 円

※小項目の記載内容は募集要項を参考とするが、項目はこれに限らない

大項目	小項目
事業費	マーケット調査費（テストマーケティング等）、データ収集・分析費 等
委託・外注費	個別アドバイザーに対する委託・外注・謝金費用（例：法務・知財等に関する専門家からのコンサルティング・サービスや顧問弁護士に対する謝金等） プロトタイプにかかる委託・外注費

人件費は対象外

費用支援を希望する費目合計 0 円

応募様式 「様式2 提案書フォーマット」

- ・ フォーマットの項目に沿って作成頂く
(最大9枚)

X. その他（参考資料）

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援

審査の観点 ①事業趣旨との合目的性
④実現可能性

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション

審査の観点 ②アイデアの革新性
④実現可能性

2. 対象とする社会課題

審査の観点 ①事業趣旨との合目的性
③マーケットとの適合性

1. ビジネスアイデアの概要

審査の観点 全体

重点テーマ	<9つの重点テーマ※1から1つを選択して記載してください。>
要旨	<ビジネスアイデアの要旨が一言で分かるような文言（タイトル）を記載してください。>
社会課題	<ビジネスアイデアの対象とする社会課題の内容について、簡潔にご記載ください> ※<P2で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
提供価値	<上記社会課題を解決するためのビジネスアイデアの提供価値について簡潔にご記載ください> ※<P3の上段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
ソリューション	<上記の価値を提供するためのソリューションについて簡潔にご記載ください> ※<P3の下段で記載する内容を簡潔にまとめてご記載ください>
アイデア発案の経緯・動機	<ビジネスアイデアを発案するに至った経緯や動機を記載してください> <アピールポイントがあれば記載してください>

※1 環境・エネルギー、物流・モビリティ、健康・医療、子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成
※2 企業等（中小企業、スタートアップ、大企業、大学、研究機関等）を指す。（明確化していない場合は業種などでも可）

応募様式 「様式2 提案書記載例」(1/5)

1. ビジネスアイデアの概要

審査の観点

全体

Sample

重点テーマ	観光・レジャー
要旨	多摩織デザインのシェアサイクルを利用した観光サービス
社会課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代ではデジタル化・DXの進展により、従来のライフスタイルから大きく変化したことで、多摩地域に歴史・魅力のある伝統工芸が存続の危機になっている。多摩地域にも八王子市を中心として江戸時代から続く「多摩織」があるが、現代において認知度が低い また、多摩地域の過疎化や人口減少、高齢化により二次交通の整備が遅れていることで、訪れる観光客にとっても利便性が悪い。観光地としても地域経済活性化に向けて観光客を増やす対策が求められている
提供価値	<ul style="list-style-type: none"> 伝統工芸の維持とレンタサイクルを活用した地域経済の活性化を両立する観光体験の提供
ソリューション	<p>多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩の主要観光スポットや工芸品をめぐる観光ツアーサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 「多摩織」デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩地域に点在する主要観光スポットの回遊と、「多摩織」の製作体験を組み合わせた観光ツアーを企画・販売する 「多摩織」をシェアサイクルのサドルやハンドル等に用いることで、ツアーのコンセプトに合致する特徴的なシェアサイクルを提供する
アイデア発案の経緯・動機	<p>木曾漆器を用いたロードバイクを見る機会があり、「多摩織」も組み合わせることができないかとの発案に至る。同時に、製作体験を行う「多摩織」の生産者から、「交通手段がなく体験に来れない観光客がいる」との話を聞き、シェアサイクルとして「多摩織」をデザインに活かした自転車を用いた観光ツアーを考えるに至る。</p>

✓ P2（社会課題）の内容を簡潔にまとめて記載

✓ P3（提供価値・ソリューション）の内容を簡潔にまとめて記載

✓ アイデア発案の経緯・動機を記載

※1 環境・エネルギー、物流・モビリティ、健康・医療、子ども・教育、安心・安全、観光・レジャー、コミュニティ活性化、ビジネスモデル改革、人材確保・育成

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

1

応募様式 「様式2 提案書記載例」(2/5)

2. 対象とする社会課題

審査の観点

- ①事業趣旨との合目的性
- ③マーケットとの適合性

課題の詳細

■課題1：歴史ある伝統工芸である多摩織の認知度の存続危機

- 従来のライフスタイルから大きく変化したことで、着物や羽織の需要は低下するとともに、「多摩織」の認知度も低く、存続の危機に陥っている。
- また、「多摩織」生産事業所の減少や担い手の若返り等の課題があり、文化継承に向けて「多摩織」を活用した新たな製品の検討、PRが必要となっている。

■課題2：二次交通の不足による観光地としての低い集客性

- 奥多摩地域等の交通空白地帯や駅からの二次交通が不足している。
- このため、多摩地域を訪れる観光客にとっては、観光地を周遊する際に利便性が悪く、多摩地域への訪問にあたっての障壁となっている。

※詳細については次頁に補足

対象とする社会課題

アイデアの対象となる顧客（誰に）

■多摩地域内を気軽に周遊したいが交通手段がない観光客

現状は観光地と観光地を結ぶ交通手段が不足しているため、多くの多摩地域への観光客が一つの観光地の往復のみにとどまっている。地域観光を気軽に楽しみたい観光客の観点で十分とは言えない。弊社が実施したヒアリング調査によれば、「駅からの移動手段がない」「免許がないため観光地を周遊する際の時間的な制約が大きい」「個性的な移動手段を確保したい」等の声が聞かれた。

■二次交通の不足により観光客の呼び込みに課題を抱える伝統工芸品の工房が点在している観光地

現状は伝統参加者は限地域観光活

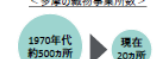
参考資料

社会課題に対する補足

- 「多摩織」認知度の低さ
伝統工芸品として認定されている織物の中で、京都の「西陣織」以外の認知度はそれほど高くなく、「多摩織」についてはほとんど知られていない。 <伝統織物の認知度>



- 「多摩織」事業所の減少
1970年代には、八王子市を中心に「多摩織」の事業所は約500カ所存在していたのに対し、現在は20カ所まで減少している <多摩の織物事業所数>

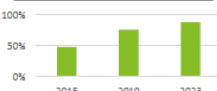


- 多摩地域の二次交通不足
奥多摩エリアでは、最寄り駅までの距離2km以上の世帯割合数は24.4%。最寄り駅までは、駅やバス停まで遠く、急峻な地形のエリアも多く、公共交通へのアクセスが不便な地域が存在

※数値や統計は仮定値

市場規模・成長性に対する補足

- 国内・海外観光客数の増加と個別手配の増加
国内旅行客、海外からのインバウンドいずれもコロナ禍からの回復傾向となっている。また、個別手配での観光客数も増加しており、都内外やインバウンド観光客の誘客をはかることで、市場規模の拡大が期待できる <個別手配をして訪日した人の割合の推移>



- シェアサイクルの利用者数の増加
シェアリングサービスが近年拡大。シェアリングシステム技術の進歩やインフラ整備の積極的な取り組みが行われているため、シェアサイクルはさらなる市場規模の拡大が期待できる <ポート設置数の推移>



※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成し

- ✓ ビジネスアイデアの対象とする社会課題について、根拠となるデータなどを用いて、記載。
- ✓ 多摩地域との関連（地域や企業の特徴など）も含めて具体的に記載。

- ✓ 課題を抱えている対象（＝ビジネスアイデアの顧客）
- ✓ 上記社会課題に対し、現状どのような対策が取られているか、その対応策がその顧客にとってなぜ不十分か記載。
- ✓ 想定する市場の有無、市場の成長性等について記載。
- ✓ 裏付けるデータ等は、参考資料としてページを追加。

応募様式 「様式2 提案書記載例」(3/5)

3. ビジネスアイデアの提供価値・ソリューション

審査の観点

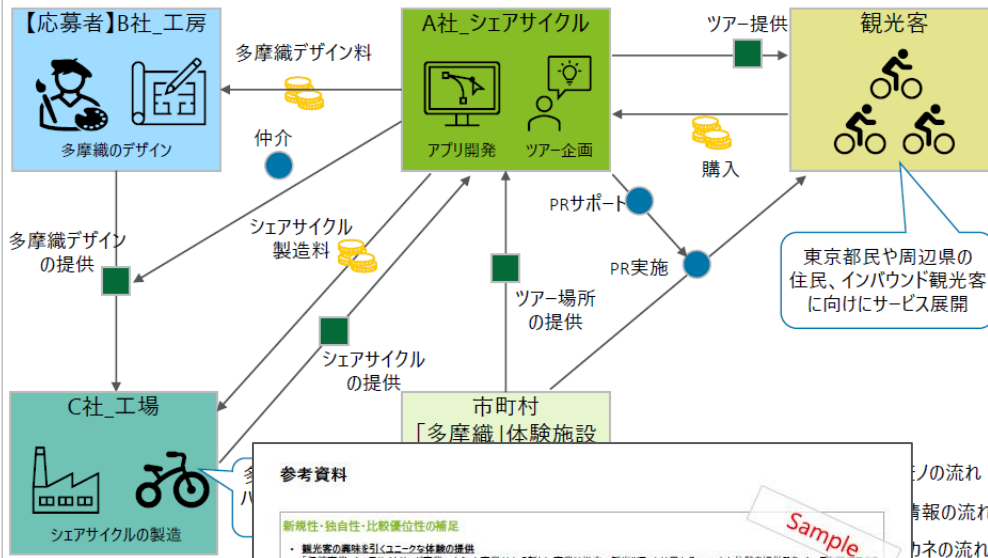
②アイデアの革新性

④実現可能性

サービス内容
(何を)

・多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩の主要観光スポットや工芸品をめぐる観光ツアーサービス
移動手段が限られ周遊できない観光客に対して、環境や健康に配慮した二次交通手段・ツアーを提供し、特に地域を周遊する機会を提供する。また、二次交通不足により観光客の集客に繋がれていない多摩織の工房に対しても、二次交通手段の提供とツアーに「多摩織」の製作体験を組み込むことで、伝統工芸品への認知度アップに寄与する取り組みとなる。本取り組みにより、伝統工芸の維持と周遊による地域経済の活性化を両立することができる。

サービス内容
(どのように)



参考資料

新規性・独自性・比較優位性の補足

- 観光客の興味を引くユニークな体験の提供
「伝統事業・シェアサイクル事業・イベント事業」という新しい事業は従来の観光ツアーとは異なるユニークな体験を提供でき、シーズを限定できると考えられる。個人ごとの旅行の自由度が一定であることで現代の多様な旅行方法に対応し、イベントとしての楽しさも得られる。従来の旅行ツアーや単体のイベント開催に比べて優位性があると考えられる。
- シェアサイクルと観光ツアーの専用アプリの開発・提供
多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルの観光ツアーを利用するにあたり専用のアプリを開発・提供する。観光ツアーの予約からシェアサイクルの利用までの専用アプリが可能にすることで、他にはサービスを提供することができず、優位性が期待できると考える。
- 本チームの総合力による独自性・優位性
歴史的な伝統産業工房でありながら、現代にフィットしたB社（の事業）の工場デザインは他社に真似できない強みがある。数々のオリジナル企画を行っているA社・特注デザインを製造可能なC社と協組を組むことで、デザインから情報発信・観光客への価値提供まで一貫したサービス提供が可能となる。
特に、前面やサイドに「多摩織」を活用し、移動手段とツアーのコンセプト（「多摩織」を体験を含む多摩地域の周遊観光）が合致する取り組みは他のシェアサイクルや観光ツアーとは一線を画す。本チームならではの取組となっている。



✓ 社会課題を解決するために、前頁記載の「課題を抱える対象」に対しどのような価値を提供し、その結果、その対象がどのような恩恵を受けるのかについて記載

✓ 上記価値を提供するためのソリューションについて、新規性・独自性のポイントがわかるようなイメージ図を記載

✓ モノ・カネ・情報などの流れについても可能な範囲で記載

✓ 裏付けるデータ等があれば、参考資料として追加

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成した

応募様式 「様式2 提案書記載例」(4/5)

4. ビジネスアイデアの実現可能性・希望する費用支援

審査の観点

①事業趣旨との合目的性

④実現可能性

検証フェーズに進むにあたって解決もしくは、取り組むべき内容

<ビジネスアイデア実現に向けた検証フェーズ（P6参照）に進むにあたり、解決もしくは取り組むべき事項について、ポイント及び解決方針について記載してください>

- ・<検証フェーズに進むためにクリアすべき技術上の課題、課題の対応方針、対応完了見込み時期>
- ・<検証時の協力先となる実証フィールドの想定や調整状況等>
- ・<法規制等の考慮すべき阻害要因やリスク、対応方針> 等

希望する費用支援項目

<費用支援を希望する項目と費用を簡単に記入してください>
※様式3で申請する内容について、まとめてご記載ください

- ✓ ビジネスアイデア実現に向けた検証フェーズに進むにあたり、解決すべき事項が残っている場合は、解決すべき事項と対応策について記載
- ・ 技術上の課題
 - ・ 実証フィールドの確保
 - ・ 法規制上の課題
など

応募様式 「様式2 提案書記載例」(5/5)

参考資料

社会課題に対する補足

- 「多摩織」認知度の低さ
伝統工芸品として認定されている織物の中で、京都の「西陣織」以外の認知度はそれほど高くなく、「多摩織」についてはほとんど知られていない。 <伝統織物の認知度>



- 「多摩織」事業所の減少
1970年代には、八王子市を中心に「多摩織」の事業所は約500カ所存在していたのに対し、現在は20カ所にまで減少している

<多摩の織物事業所数>



- 多摩地域の二次交通不足
南多摩エリアでは、最寄り駅までの距離2km以上の世帯割合数は24.4%。奥多摩エリアでは、駅やバス停まで遠く、急峻な地形のエリアも多く、公共交通へのアクセスが不便な地域が存在

※数値や統計は仮定値

市場規模・成長性に対する補足

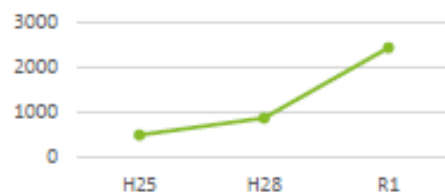
- 国内・海外観光客数の増加と個別手配の増加
国内旅行者、海外からのインバウンドいずれもコロナ禍からの回復傾向となっている。また、個別手配での観光客数も増加しており、都内外やインバウンド観光客の誘客をはかることで、市場規模の拡大が期待できる

<個別手配をして訪日した人の割合の推移>



- シェアサイクルの利用者数の増加
シェアリング市場自体が近年拡大。シェアリングシステム技術の進歩やインフラ整備の積極的な取り組みが行われているため、シェアサイクルはさらなる市場規模の拡大が期待できる

<ポート設置数の推移>



Sample

- ✓ 各項目で記載している内容を補足するデータ等があれば、対象ページの次ページに参考資料として追加
- ✓ 最大5枚まで追加可能